

EUは英国をオープンアクセスで出し抜いたか？（スティーブン・ピンコック）

・EUの報告書は助成機関に研究に対するオープンアクセスを保証するように促したが、RCUKの方針は未だに[決定の]目処が立っていない。

Pincock, Stephen. Will EU beat UK in open access? *The Scientist*, 21st April, 2006.
<<http://www.the-scientist.com/news/display/23341/>>

今月の欧州委員会（European Commission）の報告書は、科学の助成機関に研究成果へのオープンアクセスを保証するように促した。その一方、英国の研究委員会（research councils）の統括組織は、オープンアクセスについての試案（draft policy）を公表してから10ヶ月経ったが、独自の方針について未だに取り組んでいる。

4月初めに出版されたEUの報告書¹⁾は、ヨーロッパの助成機関に出版物をオープン・リポジトリにアーカイブすることを促進し、支持することを勧告する。「このアーカイブは助成の条件となるだろう。」と報告書の著者は提案する。

報告書は助成機関にオープンアクセスを義務化することを直接要求していないが、これは大きなニュースである、と情報の配布に重点的に取り組んでいる権利擁護団体である公的知識（Public Knowledge）²⁾のオープンアクセス・プロジェクトのピーター・サーバー（Peter Suber）は言った。サーバーは長年続いているブログ³⁾で「著者が義務と保証を区別するならば、それについてもっと聞きたい。しかし、保証「であっても」大歓迎であろう。」と述べた。

サーバーはまた報告書が広範な波及効果を持つことを期待していると語った。「私はこの報告書が英国研究委員会（RCUK: Research Councils UK）の方針の最終案を強化し、ヨーロッパ全域にわたり、全国レベルでOA方針を採択する誘因となり、そして緒についたばかりのヨーロッパ研究委員会（European Research Council）がERC助成研究についてOAを義務化する公算が高めることを期待する。」

RCUKは昨年6月にオープンアクセスにかんする試案⁴⁾を公表した。その文書は研究委員会（research councils）から助成を受けた科学者がオンライン・リポジトリに論文を保管（deposit）し、オープンアクセスの支持者から暖かく迎え入れられた。だが、雑誌出版社の一部や学会から反感を生み出した。

それ以来、RCUKはその立場を良くしようという狙いを持つ、出版社や科学者や政府機関やその他のグループとの非常に長い議論に巻き込まれているとRCUKの政策・支援管理事務局員であるアドリアン・ピュー（Adrian Pugh）は言った。

そのプロセスの終了の目処が立っていない。問題はRCUKが移動標的に命中させようとしていることだとピューは述べた。「実際に、私たちが発見したのはそれが大変ダイナミックで移りつつある分野であることであった。」その問題は、方針が一連の研究

分野に適用可能なものとなるので、芸術・人文分野で悪化した。彼は「そしてそれは非常にやっかいなことである。」と述べた。

ECの報告書は進行中のプロセスに間違いなく流れ込むだろうとピューは *The Scientist* 誌に語った。だが、必ずしも特に重視されないだろう。「私たちは、その課題についての意見を述べているどんな報告書を吟味するのと同じ方法で検討するだろう。」と彼は述べた。最近、ウェルカム財団⁵⁾やNIH⁶⁾や他の機関もこのテーマに介入している。

ハロゲートおよびネアズバラ選挙区の議員 (Member of Parliament for Harrogate and Knaresborough) で下院科学技術特別委員会 (House of Commons Select Committee on Science and Technology) の委員長であるフィル・ウィリス (Phil Willis) は RCUK がかけている時間の長さは「容認し難い」と述べた。

「私は、彼らはもうそろそろ彼らの立場がどうであるのかをはっきりさせても良さそうであり、彼らの立場は EC の報告書に一致していると考えている」と彼は *The Scientist* 誌に話した。「納税者がそのために支払うなら、それゆえ彼らがアクセスについても決定するというのが原則であるべきだ。」

その間に、EC は本調査に対する反応や科学出版物に関連するそれ以外の課題についての意見の提出を 2006 年 6 月 1 日まで要請している。この意見はこの秋に開催予定の科学出版物にかんする会議の焦点となるであろう。

本論文のリンク

- 1) "Study on the economic and technical evolution of the scientific publication markets in Europe," European Commission, January 2006.
http://europa.eu.int/comm/research/science-society/pdf/scientific-publication-study_en.pdf
- 2) Public Knowledge
<http://www.publicknowledge.org/>
- 3) Open access news
http://www.earlham.edu/~peters/fos/2006_04_02_fosblogarchive.html#114407521001187068
- 4) S. Pincock, "RCUK draft mandates open access," *The Scientist*, June 23, 2005.
<http://www.the-scientist.com/article/display/22710/>
- 5) S. Pincock, "Wellcome insists on open access," *The Scientist*, May 19, 2005.
<http://www.the-scientist.com/article/display/22682/>
- 6) T. Agres, "NIH announces 'open-access' rules," *The Scientist*, February 4, 2005.
<http://www.the-scientist.com/news/20050204/02/>